



# 琉球大学学術リポジトリ

University of the Ryukyus Repository

Title	研究活動 (2003年7月 ~ 2004年6月)
Author(s)	-
Citation	琉球大学農学部学術報告 = The Science Bulletin of the Faculty of Agriculture. University of the Ryukyus(51): 169-178
Issue Date	2004-12
URL	<a href="http://hdl.handle.net/20.500.12000/8551">http://hdl.handle.net/20.500.12000/8551</a>
Rights	

## 研究活動 (2003年7月~2004年6月)

## 生物生産学科

## 1) 学会および講演会等発表

- 田場 智, 高江洲和子, 大城 篤, 諸見里善一. 線虫捕捉菌を利用したサツマイモネコブセンチュウの防除. 2003年8月. 日本線虫学会大会, 帯広.
- 菊地 香, 川満芳信, 上野正実. 2003年10月. 品質取り引き後における北大東村サトウキビ作の経営改善に関する基礎研究. 地域農林経済学会大会, 山口.
- 田場 智, 高江洲和子, 大城 篤, 諸見里善一. 線虫捕捉菌を利用したサツマイモネコブセンチュウの防除. 2003年8月. 日本線虫学会大会, 帯広.
- 田場 智, 那須泰美, 高江洲和子, 大城 篤. ヨウ素・デンプン反応を用いたカンキツクリーニング病と圃場における診断法について. 2003年8月. 日本線虫学会大会, 帯広.
- 那須泰美, 田場 聡, 大潮 篤, 高江洲和子. 2003年11月. 沖縄県に発生しているカンキツクリーニング病と圃場における診断法について. 日本病理学会 細菌病談話会, 宮崎.
- 大城 篤, 高江洲和子, 夏目雅裕, 田場 聡, 上原美歌. 2004年3月. 各種カンショ病害に対する生物防除の可能性. 日本植物病理学会大会, 福岡.
- 砂川育子, 大久保綾, 建本秀樹, 新城明久, 仲田 正. 2004年3月. ブタ卵の体外受精時におけるcdc2キナーゼ阻害剤の成熟ならびに初期発生への影響. 日本畜産学会大会, 東京.
- 建本秀樹, 砂川育子, 大久保綾, 武藤徳男, 新城明久, 仲田 正. 2004年3月. ブタ卵の減数分裂時におけるMAP kinase (MARK) カスケードの細胞障害への関与. 日本畜産学会大会, 東京.
- Mar Mar Win, 津田健司, 与儀沙織, 砂川育子, 宮城佑毅, 建本秀樹, 芦澤孝二, 仲田 正. 2003年10月. ニホンウズラの生殖機能に対するジエチルスチルベストロール (DES) 投与の影響. 西日本畜産学会大会, 沖縄.
- 砂川育子, 大久保綾, 建本秀樹, 新城明久, 仲田 正. 2004年3月. ブタ卵の体外受精時におけるcdc2キナーゼ阻害剤の成熟ならびに初期発生への影響. 日本畜産学会大会, 東京.
- 建本秀樹, 砂川育子, 大久保綾, 武藤徳男, 新城明久, 仲田 正. 2004年3月. ブタ卵の減数分裂時におけるMAP kinase (MARK) カスケードの細胞障害への関与. 日本畜産学会大会, 東京.
- Mar Mar Win, 宮城佑毅, 建本秀樹, 仲田 正, 芦澤幸二. 2004年3月. ニワトリ精子とウズラ卵黄膜内層 (PL) を用いた受精能の体外評価. 日本畜産学会大会, 東京.
- 建本秀樹. 2003年9月. 体外におけるブタ胚作出技術の最新事情とその展望について. 沖縄畜産研究会大会, 沖縄.
- Mar Mar Win, 津田健司, 与儀沙織, 砂川育子, 宮城佑毅, 建本秀樹, 芦澤孝二, 仲田 正. 2003年10月. ニホンウズラの生殖機能に対するジエチルスチルベストロール (DES) 投与の影響. 西日本畜産学会大会, 沖縄.
- 繁田幸治, 建本秀樹, 十河法子, 伊藤 望, 大和田沙織, 稲田昭, 武藤徳男. 2004年3月. ベルベリンのPC12細胞におけるNGF増強作用の解析. 日本農芸化学学会大会, 広島.
- 砂川育子, 大久保綾, 建本秀樹, 新城明久, 仲田 正. 2004年3月. ブタ卵の体外受精時におけるcdc2キナーゼ阻害剤の成熟ならびに初期発生への影響. 日本畜産学会大会, 東京.
- 建本秀樹, 砂川育子, 大久保綾, 武藤徳男, 新城明久, 仲田 正. 2004年3月. ブタ卵の減数分裂時におけるMAP kinase (MARK) カスケードの細胞障害への関与. 日本畜産学会大会, 東京.
- Mar Mar Win, 宮城佑毅, 建本秀樹, 仲田 正, 芦澤幸二. 2004年3月. ニワトリ精子とウズラ卵黄膜内層 (PL) を用いた受精能の体外評価. 日本畜産学会大会, 東京.
- 平山琢二, 平川守彦, 比嘉辰雄, 外間 聡, 松永昌訓, 加藤和雄. 2004年3月. 放牧地におけるウシの採食行動. 日本畜産学会, 府中.
- 秋永孝義, 川崎聖司, 田中宗浩, 田邊哲也. 2003年8月. NIRによる泡盛の熟度判定に関する基礎的研究 (第2報). 農業施設学会大会, 帯広.
- Ermia Sofiyessi, Takayoshi Akinaga. 2003年8月. The effect of ventilation rate on the physical properties of corrugated fiberboard box: Overall heat transfer. 農業施設学会大会, 帯広.
- 秋永孝義, 川崎聖司, 田中宗浩, 田邊哲也. 2003年11月. NIRによる泡盛の熟度判定の可能性. 南方資源利用研究会発表会, 西原.
- 菊地 香, 川満芳信, 上野正実. 2003年10月. 品質取り引き後における北大東村サトウキビ作の経営改善に関する基礎研究. 地域農林経済学会大会, 山口.
- 秋永孝義, 川崎聖司, 田中宗浩, 田邊哲也. 2003年8月. 泡盛の熟度判定に関する基礎的研究 (第2報). 農業施設学会大会, 帯広.
- 秋永孝義, 川崎聖司, 田中宗浩, 田邊哲也. 2003年11月. NIRによる泡盛の熟度判定の可能性. 南方資源利用研究会発表会, 西原.
- Hassan Zaki Pakhriazad, 篠原武夫, 仲間勇栄, 行武 潔. 2003年10月. A study on the development an implementation of selective management system (SMS) in managing the dipterocarp forests of peninsular Malaysia. 日本林学会九州支部大会, 那覇.
- 菊沢 亘, 篠原武夫. 2003年10月. インドネシア・西ティモ

- ルにおける住民の森林利用とその意識. 日本林学会九州支部大会, 那覇.
- 菊沢 潔, 篠原武夫. 2003年11月. インドネシア・西ティモールにおける農家の白檀材生産. 林業経済学会大会, 東京.
- Ichawadi Iin, 篠原武夫. 2003年11月. The characteristics of private forest management in Wonosobo Regency, Central Java, Indonesia. 林業経済学会大会, 東京.
- 安田 元, 仲地宗俊. 2003年11月. インド農村におけるカーストと土地所有および就業の関係とその変動—ウ・タル・プラディッシュ州バグバナ村の事例—. 日本国際地域開発学会, 東京.
- 安里練雄, 木戸基天, 平田永二. 2003年10月. 天然生広葉樹木における除間伐強度と林内環境の関係についての実験的方針. 日本林学会吸収支部大会, 沖縄.
- 加治佐涼子, 鈴木宗弘, 安里練雄. 2003年10月. イヌマキの樹冠形状に関する研究. 日本林学会九州支部大会, 沖縄.
- Hassan Zaki Pakhriazad, 篠原武夫, 仲間勇栄, 行武潔. 2003年10月. A study on the development and implementation of selective management system (SMS) in managing the dipterocarp forests of peninsular Malaysia. 日本林学会九州支部大会, 那覇.
- 菊地 香, 川満芳信, 上野正実. 2003年10月. 品質取り引き後における北大東村サトウキビ作の経営改善に関する基礎研究. 地域農林経済学会大会, 山口.
- 中村 哲, 菊地 香, 慶野征二, 吉田昌之. 2003年 10月. 貿易自由化後におけるパインアップル農家の生産規模規定要因—沖縄県国頭郡東村における農家アンケートからの接近—. 地域農林経済学会大会, 山口.
- 菊地 香. 2004年 4月. サトウキビ農家の経営形態別にみた肥培管理のあり方と単収の関係—単収低下傾向にある北大東村を事例として—. 日本国際地域開発学会大会, 神奈川.
- 農業, 48:57-61.
- 田場 聡, 大城 篤, 高江洲和子, 諸見里善一, 沢岷哲也. 2004年 6月. 米ぬか混和・太陽熱併用処理によるネコブセンチュウ防除および土壤微生物相に与える影響. 沖縄農業, 37:21-28.
- 田場 聡, 高江洲和子, 大城 篤, 諸見里善一, 沢岷哲也. 2004年 6月. 褐色輪紋症状を呈するマンゴー葉から分離された炭疽病菌について. 沖縄農業, 37:29-31.
- Mitsuru Okuda, Satoshi Taba, Kaoru Hanada. 2003年 12月. The SRNA segment determines symptom differences on *Tetragonia expansa* between two Watermelon silver mottle virus isolates. *Physiological and Molecular plant Pathology*, 62: 327-332.
- 田場 聡, 高江洲和子, 大城 篤, 諸見里善一, 沢岷哲也. 2004年 3月. *Colletotrichum acutatum* SIMMONDS ex SIMMONDSによるマンゴー炭素病 (病原追加), 熱帯農業, 48:57-61.
- 田場 聡, 大城 篤, 高江洲和子, 諸見里善一, 沢岷哲也. 2004年 6月. 米ぬか混和・太陽熱併用処理によるネコブセンチュウ防除および土壤微生物相に与える影響. 沖縄農業, 37:21-28.
- 田場 聡, 高江洲和子, 大城 篤, 諸見里善一, 沢岷哲也. 2004年 6月. 褐色輪紋症状を呈するマンゴー葉から分離された炭疽病菌について. 沖縄農業, 37:29-31.
- N. Asato, T. Hirata, Takuji Hirayama, R. Onodera, Akihisa Shinjo and Seichi Oshiro. 2003. Effects of auditory stimuli on the ruminating and masticating behavior of goats in dark and artificial lighting. *Asian-Australian J. Anim. Sci.*, 16: 198-203.
- Itsuki Nagamine, Katsunori Sunagawa, Junichi Kuriwaki and Akihisa Shinjo. 2003年. 12月. Changes in single unit activity in the lateral hypothalamic area of goats during feeding. *J. Anim. Sci.*, 81: 529-536.
- 比嘉辰雄, 外間 聡, 平山琢二, 平川守彦. 2003年12月. 亜熱帯フィールド科学教育研究センターにおける子牛下痢発生と対策 (2) 琉大農学報. 50: 177-180.
- 篠原武夫. 2003年11月. 最近のインドネシアの林業生産と木材輸出. 林経協月報, 506: 2-26.
- 篠原武夫. 2003年12月. 不況下の島嶼と本土の民有林業生産の現状. 林経済協会, 507: 2-28.
- 篠原武夫. 2003年12月. 沖縄県国頭郡・東村民有林の林業的利用に関する研究. 琉大農学報, 50: 61-69.
- 羅 攀柱, 篠原武夫, 仲間勇栄, 行武 潔, 譚 益民. 2003年12月. 中国南方集体林区の実態とその特徴. 琉大農学報, 50:101-107.
- 羅 攀柱, 篠原武夫, 譚 益民. 2003年12月. 中国南方集体林における所有形態と経営方式の歴史的変遷, 琉大農学報. 50:109-115.
- 菊沢 亘, 篠原武夫. 2004年 3月. インドネシア・西ティモールにおける住民の森林利用とその意識. 九州森林研究, 57: 45-49.

## 2) 論文

- Yukihiro Tamaki, Shuntoku Uechi, Tohki Taira, Masanobu Ishihara, Shinichi Adaniya, Kenji Uesato, Masakazu Hukuta and Masakuni Tako. 2004年 1月. Isolation and characterization of pectin from pericarp of *Citrus depressa*. *Journal of Applied Glycoscience*, 51: 19-25.
- Yukihiro Tamaki, Shuntoku Uechi, Tohki Taira, Masanobu Ishihara, Shinichi Adaniya, Kenji Uesato, Masakazu Hukuta and Masakuni Tako. 2004年 1月. Isolation and characterization of pectin from pericarp of *Citrus depressa*. *Journal of Applied Glycoscience*, 51: 19-25.
- 田場 聡, 高江洲和子, 大城 篤, 諸見里善一, 沢岷哲也. 2004年 3月. *Colletotrichum acutatum* SIMMONDS ex SIMMONDSによるマンゴー炭素病 (病原追加). 熱帯

Hassan Zaki Pakhriazad, Takeo Shinohara, Yuei Nakama, and Kiyoshi Yukuta. 2004年3月. A selective management system (SMS): A case study in the implementation of SMS in managing the dipterocarp forests of Peninsular Malaysia. 九州林業研究. 67:39-44.

Hassan Zaki, Pakhriazad and Taketo Shinohara. 2004年3月. A study in timber and wood-base industries development in the State of Pahang, Peninsular Malaysia. 林業経済研究. 50(1): 76-82.

坂井教郎, 仲地宗俊. 2003年9月. 亜熱帯島嶼地域における持続的農業の基礎条件—戦後沖縄農業の生産力および環境問題. 農業経営研究—, 41(2):1-12.

仲地宗俊. 2004年4月. 価格低落局面における遠隔園芸産地の模索—沖縄県今帰仁村—. 日本農業の主体形成. 田代洋一編, 筑波書房, pp. 373-410.

安里練雄, 当真真子, 呂 勇, 安里 修. 2003年12月. イジュ人工林の樹冠直径および相対幹距に基づく除間伐基準の検討. 琉大農学報, 50:71-75.

Lu Yong, Isao Asato and Xia Haiming. 2003年12月. Transformation of natural secondary forest. Forest Resources Management, China, 6: 23-26.

Lu Yong and Isao Asato. 2004年2月. The current situation and developing tendency of forest certification. J. Central South Forestry University, China, 24(1): 78-82.

羅 攀柱, 篠原武夫, 仲間勇栄, 行武 潔, 譚 益民. 2003年12月. 中国南方集体林区の実態とその特徴. 琉大農学報, 50:101-107.

Hassan Zaki, Pakhriazad, Takeo Shinohara, Yuei Nakama, and Kiyoshi Yukuta. 2004年3月. A selective management system (SMS): A case study in the implementation of SMS in managing the dipterocarp forests of Peninsular Malaysia. 九州林業研究. 67:39-44.

仲間勇栄, 菊地 香. 2003年12月. 島嶼環境における屋敷防風林の意識と地域住民の意識—沖縄県本部町備瀬集落を事例として—. 琉大農学報, 50: 77-83.

菊地 香, 中村哲也, 魏 台錫, 仲間勇栄. 2003年12月. 島嶼地域における起業的農産加工の展開に関する研究, 琉大農学報. 50: 93-99.

仲間勇栄, 菊地 香. 2003年12月. 島嶼環境における屋敷防風林の意識と地域住民の意識—沖縄県本部町備瀬集落を事例として—. 琉大農学報, 50: 77-83.

菊地 香, 中村哲也, 魏 台錫, 仲間勇栄. 2003年12月. 島嶼地域における起業的農産加工の展開に関する研究, 琉大農学報. 50: 93-99.

### 3) 報告書

建本秀樹. 2004年3月. プタ卵子への精子侵入時におけるヒアルロニダーゼの生理作用の解明. 科学研究費若手研究

### (B) 成果報告書.

安里練雄. 2004年3月. 亜熱帯性早生樹種を活用した沖縄の森林整備の推進方策調査報告書・人工造林に適した早生樹種等の選定調査, 内閣府沖縄総合事務局.

### 生産環境学科

#### 1) 学会および講演会等発表

吉永安俊, 酒井一人. 2003年7月. 微細土粒子の分散と沈降に及ぼす化学肥料の影響に関する研究. 農業土木学会大会, 那覇.

吉永安俊, 酒井一人, 生駒信康, 西野好生, 西本安志. 2003年11月. 貯水池の水面被覆による水質悪化防止に関する研究. 日本雨水資源化システム学会大会, 岐阜.

吉永安俊, 酒井一人. 2003年7月. 微細土粒子の分散と沈降に及ぼす化学肥料の影響に関する研究. 農業土木学会大会, 那覇.

吉永安俊, 酒井一人, 生駒信康, 西野好生, 西本安志. 2003年11月. 貯水池の水面被覆による水質悪化防止に関する研究. 日本雨水資源化システム学会大会, 岐阜.

中村真也, 宜保清一, 佐々木慶三. 2003年7月. リングせん断挙動に及ぼす鉱物組成の影響. 農業土木学会大会, 那覇.

宜保清一, 中村真也, 比嘉 優. 2003年7月. 島尻層群泥岩のピーク強度. 農業土木学会大会, 那覇.

松井亮太郎, 砂辺千寿子, 宜保清一, 中村真也. 2003年7月. 堆積クラストの粒度と透水性. 農業土木学会大会, 那覇.

宜保清一, 中村真也, 比嘉 優, 吉沢光三. 2003年8月. 安定解析に必要な強風化・破碎泥岩の強度. 地すべり学会研究発表会, 富山.

中村真也, 宜保清一, 佐々木慶三. 2003年8月. 地すべりのリングせん断挙動に及ぼす鉱物組成の影響. 地すべり学会研究発表会, 富山.

宜保清一, 中村真也, 松井亮太郎. 2003年10月. 傾斜畑面における土壌クラストとその粒度組成. 農業土木学会九州支部講演会, 別府.

宜保清一, 中村真也, 比嘉 優, 赤嶺和雄. 2003年10月. 鉄筋補強土工の合理的設計—沖縄, 島尻層群泥岩斜面への適用—. 農業土木学会九州支部講演会, 別府.

孫 保平, 趙 廷寧, 宜保清一, 中村真也, 佐々木慶三. 2003年10月. 中国寧夏南部の黄地すべりの特徴と分類. 農業土木学会九州支部講演会, 別府.

渡嘉敷義浩, 西富麻紀, 金城 尚, 鬼頭 誠. 2003年8月. 沖縄に分布する土壌と化学肥料との関係(その1) 国頭マージと分散・凝集に及ぼす化学肥料の影響. 日本土壌肥料学会大会, 神奈川.

金城和俊, 渡嘉敷義浩, 佐藤一紘. 2003年8月. マングローブ林内の堆積泥の特徴, 水路法面と周辺における表層堆積泥の有機物. 日本土壌肥料学会大会, 神奈川.

- 鬼頭 誠, 正垣貴久, 渡嘉敷義浩. 2003年8月. コーヒー粕の農業利用に関する研究, コーヒー粕施用による土壌物理性の経時変化. 日本土壌肥料学会大会, 神奈川.
- 大田杏子, 鬼頭 誠, 渡嘉敷義浩. 2003年8月. コーヒー粕の農業利用に関する研究, 沖縄における強害帰化雑草の発生に及ぼすコーヒー粕施用の影響. 日本土壌肥料学会大会, 神奈川.
- 渡嘉敷義浩, 西富麻紀, 金城 尚, 鬼頭 誠. 2003年8月. 沖縄に分布する土壌と化学肥料との関係(その1) 国頭マージと分散・凝集に及ぼす化学肥料の影響. 日本土壌肥料学会大会, 神奈川.
- 鬼頭 誠, 正垣貴久, 渡嘉敷義浩. 2003年8月. コーヒー粕の農業利用に関する研究, コーヒー粕施用による土壌物理性の経時変化. 日本土壌肥料学会大会, 神奈川.
- 中村真也, 宜保清一, 佐々木慶三. 2003年7月. リングせん断挙動に及ぼす鉱物組成の影響. 農業土木学会大会, 那覇.
- 宜保清一, 中村真也, 比嘉 優. 2003年7月. 島尻層群泥岩のピーク強度. 農業土木学会大会, 那覇.
- 松井亮太郎, 砂辺千寿子, 宜保清一, 中村真也. 2003年7月. 堆積クラストの粒度と透水性. 農業土木学会大会, 那覇.
- 宜保清一, 中村真也, 比嘉 優, 吉沢光三. 2003年8月. 安定解析に必要な強風化・破碎泥岩の強度. 地すべり学会研究発表会, 富山.
- 中村真也, 宜保清一, 佐々木慶三. 2003年8月. 地すべりのリングせん断挙動に及ぼす鉱物組成の影響. 地すべり学会研究発表会. 富山.
- 宜保清一, 中村真也, 松井亮太郎. 2003年10月. 傾斜畑面における土壌クラストとその粒度組成. 農業土木学会九州支部講演会, 別府.
- 宜保清一, 中村真也, 比嘉 優, 赤嶺和雄. 2003年10月. 鉄筋補強土工の合理的設計—沖縄, 島尻層群泥岩斜面への適用—. 農業土木学会九州支部講演会, 別府.
- 孫 保平, 趙 廷寧, 宜保清一, 中村真也, 佐々木慶三. 2003年10月. 中国寧夏南部の黄度地すべりの特徴と分類. 農業土木学会九州支部講演会, 別府.
- 金城和俊, 渡嘉敷義浩, 佐藤一紘. 2003年8月. マングローブ林内の堆積泥の特徴, 水路方面と周辺における表層堆積泥の有機物. 日本土壌肥料学会大会, 神奈川.
- 須藤健二, 小倉 剛, 平山琢二, 向井 宏, 川島由次, 大泰司紀之. 2003年7月. 南西諸島のジュゴンの生息北限に関する聞き取り調査. 日本野生動物医学会, 西原.
- 平山琢二, 小倉 剛, 須藤健二, 川島由次, 向井 宏, 大泰司紀之. 2003 7. 沖縄島と奄美島におけるジュゴンの餌となる海草の成分組成. 日本野生動物医学会, 西原.
- Go Ogura, Norimi Tanahara, Manabu Nakachi, Osamu Ishibashi and Yoshitsugu Kawashima. 2003年12月. Progress in controlling spread of small Asian mongoose and trials on effective mongoose lures in Okinawa. 3rd International Wildlife Management Congress, Christchurch, New Zealand.
- 目加田和之, 吉木 淳, 小倉 剛, 森脇和郎, 小幡裕一, 織田統一. 2004年5月. 沖縄本島産野生マウス *Mus caroli* からの系統育成とその基礎特性. 日本動物実験学会総会, 長崎.

## 2) 論文

- Akbar Md. Hossain, Anshyn Yoshinaga, Kazuto Sakai and Seiichi Gibo. 2003年6月. Effect of deficient water supply on growth and yield parameters of sugarcane. Sand Dune Res., 51:1-11.
- 酒井一人, 吉永安俊, 大澤和俊. 2003年11月. 仮装データ生成用斜面モデルの構築および数値実験による浮遊土砂流出特性の検討. 水文・水資源学会誌, 16(6): 595-604.
- 吉永安俊, 酒井一人, 村上哲也. 2003年12月. 石灰岩土壌培地の温度分布特性に関する研究—地下ダムによる野菜培地の温度制御に関する研究—. 農業土木学会論文集, 228: 41-48.
- 吉永安俊, 酒井一人, 村上哲也. 2004年1月. 沖縄地域におけるペンマン法による蒸散位の時空間分布. 日本水資源化システム学会誌, 10:31-36.
- 吉永安俊, 酒井一人, 渡嘉敷義浩. 2004年2月. 国頭マージ土壌の分散と凝集沈降に及ぼす化学肥料の影響に関する研究. 農業土木学会論文集, 229: 63-69.
- 大澤和敏, 酒井一人, 吉永安俊, 田中忠次, 島田正志. 2004年2月. 農業流域での多点同時観測による浮遊土砂動態の検討. 農業土木学会論文集, 229:101-108.
- 吉永安俊, 久保雅義, 嶋田善多, 生駒信康. 2004年5月. 離島の活性化に対するゴム製大型袋による資源輸送構想. 日本ゴム協会誌, 77: 159-165.
- Akbar Md. Hossain, Anshyn Yoshinaga, Kazuto Sakai and Seiichi Gibo. 2003年6月. Effect of deficient water supply on growth and yield parameters of sugarcane. Sand Dune Res, 51:1-11.
- 酒井一人, 吉永安俊, 大澤和俊. 2004年12月. 仮装データ生成用斜面モデルの構築および数値実験による浮遊土砂流出特性の検討. 水文・水資源学会誌, 16(6): 595-604.
- 吉永安俊, 酒井一人, 村上哲也. 2003年12月. 石灰岩土壌培

- 地の温度分布特性に関する研究—地下ダムによる野菜培地の温度制御に関する研究—。農業土木学会論文集, 228: 41-48.
- 吉永安俊, 酒井一人, 村上哲也. 2004年1月. 沖縄地域におけるベンマン法による蒸散位の時空間分布. 日本雨水資源化システム学会誌, 10: 31-36.
- 吉永安俊, 酒井一人, 渡嘉敷義浩. 2004年2月. 国頭マージ土壌の分散と凝集沈降に及ぼす化学肥料の影響に関する研究. 農業土木学会論文集, 229: 63-69.
- 大澤和敏, 酒井一人, 吉永安俊, 田中忠次, 島田正志. 2004年2月. 農業流域での多点同時観測による浮遊土砂動態の検討. 農業土木学会論文集, 229:101-108.
- 宜保清一, 中村真也, 比嘉 優, 吉沢光三. 2003年10月. 安定解析に必要な強風化・破碎泥岩の強度—沖縄, 島尻層群泥岩斜面の安定問題—. 農業土木学会論文集, 227:113-118.
- 宜保清一, 中村真也, 佐々木慶三. 2003年11月. 地すべり土のリングせん断挙動に及ぼす鉱物組成の影響. 地すべり, 40: 259-265.
- Akbar Md. Hossain, Anshyn Yoshinaga, Kazuto Sakai and Seiichi Gibo. 2003年6月. Effect of deficient water supply on growth and yield parameters of sugarcane. Sand Dune Res., 51:1-11.
- 中村真也, 宜保清一, 林 義隆. 2004年2月. 残留係数を導入した地すべりの三次元安定解析—沖縄, 仲順地すべりについて—. 農業土木学会論文集, 229:47-74.
- 孫 保平, 宜保清一, 佐々木慶三, 趙 廷寧, 中村真也. 2004年5月. 中国・寧夏南部の黄土地すべりの特徴とすべり面の位置による分類. 自然災害科学, 23: 61-74.
- 吉永安俊, 酒井一人, 渡嘉敷義浩. 2004年2月. 国頭マージ土壌の分散と凝集沈降に及ぼす化学肥料の影響に関する研究. 農業土木学会論文集, 229: 63-69.
- 宜保清一, 中村真也, 比嘉 優, 吉沢光三. 2003年10月. 安定解析に必要な強風化・破碎泥岩の強度—沖縄, 島尻層群泥岩斜面の安定問題—. 農業土木学会論文集, 227: 113-118.
- 宜保清一, 中村真也, 佐々木慶三. 2003年11月. 地すべり土のリングせん断挙動に及ぼす鉱物組成の影響. 地すべり, 40:259-265.
- 中村真也, 宜保清一, 林 義隆. 2004年2月. 残留係数を導入した地すべりの三次元安定解析—沖縄, 仲順地すべりについて—. 農業土木学会論文集, 229:47-74.
- 孫 保平, 宜保清一, 佐々木慶三, 趙 廷寧, 中村真也. 2004年5月. 中国・寧夏南部の黄土地すべりの特徴とすべり面の位置による分類. 自然災害科学, 23: 61-74.
- 上地俊徳, 福重耕一郎, 小倉 剛, 川島由次, 砂川勝徳, 田幸正邦, 本郷富士弥. 2003年12月. 高脂肪高コレステロール負荷ラットの血清および肝臓中脂質に及ぼすウコン入発酵飲料投与の影響. 琉大農学報, 50:165-170.
- Itsuki Nagamine, Katsunori Sunagawa, Junichi Kuriwaki and Akihisa Shinjyo. 2003年12月. Changes in single unit activity in the lateral hypothalamic area of goats during feeding. J. Anim. Sci., 81: 529-536.
- Katsunori Sunagawa, Y. Nakatsu, Y. Nishikubo, T. Ooshiro, K. Naitou and Itsuki Nagamine. 2003年8月. Effect of parotid saliva secretion on dry forage intake in goats. Asian-Australian Anim. Sci., 116(8):1118-1125.
- 上地俊徳, 福重耕一郎, 小倉 剛, 川島由次, 砂川勝徳, 田幸正邦, 本郷富士弥. 2003年12月. 高脂肪高コレステロール負荷ラットの血清および肝臓中脂質に及ぼすウコン入発酵飲料投与の影響. 琉大農学報, 50:165-170.
- 上地俊徳, 福重耕一郎, 小倉 剛, 川島由次, 砂川勝徳, 田幸正邦, 本郷富士弥. 2003年12月. 高脂肪高コレステロール負荷ラットの血清および肝臓中脂質に及ぼすウコン入発酵飲料投与の影響. 琉大農学報, 50:165-170.

### 3) 報告書

- 吉永安俊. 2004年3月. 平成15年度計画基礎諸元(動向)調査. ほ場整備(畑), 前兼久地区報告書, pp. 121-137.
- 宜保清一, 中村真也. 2004年2月. 那覇市鳥掘地内泥岩斜面の土質調査報告書.
- 宜保清一, 中村真也. 2004年3月. 発泡ガラスを活用した盛土設計に関する報告書.
- 宜保清一, 中村真也. 2004年2月. 那覇市鳥掘地内泥岩斜面の土質調査報告書.
- 宜保清一, 中村真也. 2004年3月. 発泡ガラスを活用した盛土設計に関する報告書.

### 生物資源科学科

#### 1) 学会および講演会等発表

- 石原昌信, 奥濱真作, 平良東紀, 多和田真吉, 小波本直忠. 2004年3月. 泡盛醸造における原料米からのフェルラ酸の遊離. 日本農芸化学会大会, 広島.
- 石原昌信, 奥濱真作, 平良東紀, 多和田真吉, 小波本直忠. 2004年3月. 泡盛醸造における原料米からのフェルラ酸の遊離. 日本農芸化学会大会, 広島.
- 城間 力, 照屋武志, 上地俊徳, 多和田真吉, 田幸正邦. 2003年7月. 沖縄産ヒジキ (*Hijikia fusiformis*) からアルギン酸の分離・同定. 日本糖質学会年会, 横浜.
- A. A. Elzaawely, Q. S. Hossain, Masakazu Fukuta and Shinkichi Tawata. 2003年7月. Antioxidant and antimicrobial activities of aerial parts of *Rumex japonicus* Houtt. 3rd Pan Pacific Conference on Pesticide Science, Honolulu, Hawaii.
- 山城美智, 赤嶺公一, 又吉壮輝, 平良東紀, 石原昌信, 福田雅一, 多和田真吉. 2004年3月. ギンネム群落土壌から

- 分離された細菌が持つミモシン分解酵素に関する研究。日本農芸化学学会大会，広島。
- 又吉壯輝，幸地勇樹，山城美智，平良東紀，石原昌信，屋宏典，福田雅一，多和田真吉。2004年3月。ギンネム (*Leucaena leucocephala* de wit) のミモシン分解酵素。日本農芸化学学会大会，広島。
- 幸地勇樹，又吉壯輝，山城美智，平良東紀，石原昌信，屋宏典，福田雅一，多和田真吉。2004年3月。ミモシンの合成酵素遺伝子の単離と塩基配列の決定。日本農芸化学学会大会，広島。
- 石原昌信，奥濱真作，平良東紀，多和田真吉，小波本直忠。2004年3月。泡盛醸造における原料米からのフェルラ酸の遊離。日本農芸化学学会大会，広島。
- 久場恵美，田名千尋，多和田真吉，安田正昭。2004年3月。紅麹酸性プロテアーゼを作用させた大豆タンパク質加水分解中におけるACE阻害ペプチド。日本農芸化学学会大会，広島。
- Masakuni Tako, Shigeru Tohma, Tohki Taira, Masanobu Ishihara. 2003年7月。Gelation mechanism of deacetylated rhamnan gum. 12th European Carbohydrate Symposium, Grenoble, France.
- 田幸正邦，当真 秀，平良東紀，石原昌信。2003年7月。脱アセチルラムザンガムのゲル化機構。2003年7月。日本糖質学会年会，横浜。
- 下地真紀子，大泊敦子，平良東紀，石原昌信。2003年10月。ガジュマル由来キチナーゼの抗真菌活性。日本農芸化学会西日本支部，中国・四国支部，日本栄養・食糧学会西日本支部，日本食品科学工学会西日本支部合同大会，鹿児島。
- 大泊敦子，下地真紀子，平良東紀，石原昌信。2003年11月。ガジュマル乳液由来の抗カビ蛋白質。南方資源利用技術研究会発表会，沖縄。
- 石原昌信，奥濱真作，平良東紀，多和田真吉，小波本直忠。2004年3月。泡盛醸造における原料米からのフェルラ酸の遊離。日本農芸化学学会大会，広島。
- 山城美智，赤嶺公一，又吉壯輝，平良東紀，石原昌信，福田雅一，多和田真吉。2004年3月。ギンネム群落土壌から分離された細菌が持つミモシン分解酵素に関する研究。日本農芸化学学会大会，広島。
- 又吉壯輝，幸地勇樹，山城美智，平良東紀，石原昌信，屋宏典，福田雅一，多和田真吉。2004年3月。ギンネム (*Leucaena leucocephala* de wit) のミモシン分解酵素。日本農芸化学学会大会，広島。
- 幸地勇樹，又吉壯輝，山城美智，平良東紀，石原昌信，屋宏典，福田雅一，多和田真吉。2004年3月。ミモシンの合成酵素遺伝子の単離と塩基配列の決定。日本農芸化学学会大会，広島。
- A. A. Elzaawely, Q. S. Hossain, Masakazu Fukuta and Shinkichi Tawata. 2003年7月。Antioxidant and antimicrobial activities of aerial parts of *Rumex japonicus* Houtt. 3rd Pan Pacific Conference on Pesticide Science, Honolulu Hawaii.
- 玉城志博，福田雅一，田幸正邦。2003年7月。シークワーシャー (*Citrus depressa*) 果皮からペクチンの分離・同定。日本糖質学会年会，横浜。
- 山城美智，赤嶺公一，又吉壯輝，平良東紀，石原昌信，福田雅一，多和田真吉。2004年3月。ギンネム群落土壌から分離された細菌が持つミモシン分解酵素に関する研究。日本農芸化学学会大会，広島。
- 安田正昭，豊川洋一，久場奈緒子，福田雅一，高橋正和，高木博史。2004年3月。*Bacillus pumilus* の生産するセリンプロテアーゼ遺伝子の古草菌における発現。日本農芸化学学会大会，広島。
- 又吉壯輝，幸地勇樹，山城美智，平良東紀，石原昌信，屋宏典，福田雅一，多和田真吉。2004年3月。ギンネム (*Leucaena leucocephala* de wit) のミモシン分解酵素。日本農芸化学学会大会，広島。
- 幸地勇樹，又吉壯輝，山城美智，平良東紀，石原昌信，屋宏典，福田雅一，多和田真吉。2004年3月。ミモシンの合成酵素遺伝子の単離と塩基配列の決定。日本農芸化学学会大会，広島。
- Masakuni Tako, Shigeru Tohma, Tohki Taira and Masanobu Ishihara. 2003年7月。Gelation mechanism of deacetylated rhamnan gum. 12th European Carbohydrate Symposium, Grenoble, France.
- 田幸正邦，当真 秀，平良東紀，石原昌信。2003年7月。脱アセチルラムザンガムのゲル化機構。2003年7月。日本糖質学会年会，横浜。
- 下地真紀子，大泊敦子，平良東紀，石原昌信。2003年10月。ガジュマル由来キチナーゼの抗真菌活性。日本農芸化学会西日本支部，中国・四国支部，日本栄養・食糧学会西日本支部，日本食品科学工学会西日本支部合同大会，鹿児島。
- 大泊敦子，下地真紀子，平良東紀，石原昌信。2003年11月。ガジュマル乳液由来の抗カビ蛋白質。南方資源利用技術研究会発表会，沖縄。
- 石原昌信，奥濱真作，平良東紀，多和田真吉，小波本直忠。2004年3月。泡盛醸造における原料米からのフェルラ酸の遊離。日本農芸化学学会大会，広島。
- 山城美智，赤嶺公一，又吉壯輝，平良東紀，石原昌信，福田雅一，多和田真吉。2004年3月。ギンネム群落土壌から分離された細菌が持つミモシン分解酵素に関する研究。日本農芸化学学会大会，広島。
- 又吉壯輝，幸地勇樹，山城美智，平良東紀，石原昌信，屋宏典，福田雅一，多和田真吉。2004年3月。ギンネム (*Leucaena leucocephala* de wit) のミモシン分解酵素。日本農芸化学学会大会，広島。
- 幸地勇樹，又吉壯輝，山城美智，平良東紀，石原昌信，屋宏典，福田雅一，多和田真吉。2004年3月。ミモシンの合成酵素遺伝子の単離と塩基配列の決定。日本農芸化学学会大会，広島。
- 孫 麗曼，石丸哲二，大田 豊，勝山直文，玉城 一，知念

- 功. 2003年10月. 食餌制限食およびタンパク質欠乏食により誘発する骨粗鬆症の比較. 日本農芸化学会西日本支部, 中国・四国支部, 日本栄養食糧学会西日本支部, 日本食品科学工学会西日本支部合同大会, 鹿児島.
- 石丸哲二, 孫麗曼, 大田豊, 勝山直文, 玉城一, 知念功. 2003年10月. カルシウム欠乏食により誘発する骨粗鬆症の比較. 日本農芸化学会西日本支部, 中国・四国支部, 日本栄養食糧学会西日本支部, 日本食品科学工学会西日本支部合同大会, 鹿児島.
- Masaaki Yasuda. 2003年8月. Characterization of Tofuyo (fermented tofu). First International Symposium and Workshop on Insight into the World of Indigenous Fermented Foods for Technology Development and Food safety, Bangkok, Thailand.
- Masaaki Yasuda. 2003年8月. Special lecture/Workshop on Fermented Soybeans: Tofuyo. First International Symposium and Workshop on Insight into the World of Indigenous Fermented Foods for Technology Development and Food Safety, Bangkok, Thailand.
- 高橋正和, 高木博史, 安田正昭. 2003年9月. *In vitro* リフォルディングによる *Busillus pumilus* TYO-67 由来のアルカリセリンプロテアーゼの生産. 食品酵素化学研究会学術講演会, 岩手.
- 安田正昭, 橋信二郎, 河合富佐子. 2003年9月. 細菌の異種局在性PPG脱水素酵素の酵素化学的性質. 日本生物工学会大会, 熊本.
- Hanifah Nuryani Lioe, Anton Apriyantono, Dedi Fardiaz, Budiartman Satiawihardja and Masaaki Yasuda. 2003年9月. Chemical and sensory characteristics of low molecular weight fractions present in Indonesian sauce. 日本農芸化学会西日本支部, 中国・四国支部, 日本栄養・食糧学会西日本支部, 日本食品科学工学会西日本支部合同大会, 鹿児島.
- 安田正昭, 豊川洋一, 久場奈緒子, 福田雅一, 高橋正和, 高木博史. 2004年3月. *Bucillus pumilus* の生産するセリンプロテアーゼ遺伝子の古草菌における発現. 日本農芸化学会大会, 広島.
- 久場恵美, 田名千尋, 多和田真吉, 安田正昭. 2004年3月. 紅麹酸性プロテアーゼを作用させた大豆タンパク質加水分解中におけるACE阻害ペプチド. 日本農芸化学会大会, 広島.
- Hanifah Nuryani Lioe, Anton Apriyantono, Hideo Naoki and Masaaki Yasuda. 2004年3月. Low molecular weight compounds responsible for savory taste of Indonesian soy sauce. 日本農芸化学会大会, 広島.
- Masaaki Yasuda and Megumi Kuba. 2004年5月. Chemical and physiologically functional characteristics of Tofuyo (fermented tofu). Gui Lin, China.
- Masakuni Tako, Shigeru Tohma, Tohki Taira and Masanobu Ishihara. 2003年7月. Gelation mechanism of deacetylated rhamnan gum. 12th European Carbohydrate Symposium, Grenoble, France.
- Yukihiro Tamaki and Masakuni Tako. 2003年7月. Isolation and characterization of pectin from pericarp of *Citrus depressa*. 12th European Carbohydrate Symposium, Grenoble, France.
- 田幸正邦, 当真秀, 平良東紀, 石原昌信. 2003年7月. 脱アセチルラムザンガムのゲル化機構. 2003年7月. 日本糖質学会年会, 横浜.
- 城間力, 照屋武志, 上地俊徳, 多和田真吉, 田幸正邦. 2003年7月. 沖縄産ヒジキ (*Hijikia fusiformis*) からアルギン酸の分離・同定. 日本糖質学会年会, 横浜.
- 玉城志博, 福田雅一, 田幸正邦. 2003年7月. シークワーシャー (*Citrus depressa*) 果皮からペクチンの分離・同定. 第24回日本糖質学会年会, 横浜.
- 田幸正邦. 2003年8月. 長寿と海藻, 講演会「長寿と食文化」. 日本応用糖質科学会西日本支部・琉球新報, 宜野湾.
- 田幸正邦, 花城勲, 竹田靖史. 2003年9月. 小麦澱粉の老化特性. 2003年10月. 日本農芸化学会西日本支部, 中国・四国支部, 日本栄養・食糧学会西日本支部, 日本食品科学工学会西日本支部合同大会, 鹿児島.
- 田幸正邦. 2003年11月. 多糖類の機能の分子起源. 食品の物性に関するシンポジウム, 那覇.
- 田幸正邦, 津波幸順, 照屋武志. 2004年3月. オキナワモズクから製造したフコイダンの抗血液凝固作用. 日本農芸化学会大会, 広島.
- 田幸正邦. 2004年5月. 養殖オキナワモズクから製造したフコイダンの特徴. 国際シンポジウム, サンゴ礁海域の資源管理と増養殖, 西原.

## 2) 論文

- 石原昌信, 片山寿雄, 平良東紀, 多和田真吉, 小波本直忠. 2003年7月. *Aspergillus oryzae* W-1 のアルカリプロテアーゼインヒビター. 日本食品科学工学会誌, 50: 327-330.
- Riki Shiroma, Shuntoku Uechi, Tohki Taira, Masanobu Ishihara, Shinkichi Tawata and Masakuni Tako. 2003年7月. Isolation and characterization of fucoidan from *Hijikia fusiformis* (Hijiki). Journal of Applied Glycoscience, 50: 361-365.
- 石原昌信, 片山寿雄, 平良東紀, 多和田真吉, 小波本直忠. 2003年7月. *Aspergillus oryzae* W-1 のアルカリプロテアーゼインヒビター. 日本食品科学工学会誌, 50: 327-330.
- Riki Shiroma, Shuntoku Uechi, Tohki Taira, Masanobu Ishihara, Shinkichi Tawata and Masakuni Tako. 2003年7月. Isolation and characterization of fucoidan from *Hijikia fusiformis* (Hijiki). Journal of Applied Glycoscience, 50: 361-365.
- Masakuni Tako, Shigeru Tohma, Tohki Taira and



- Masanobu Ishihara. 2003年11月. Gelation mechanism of deacetylated rhamnan gum. *Carbohydrate Polymers*, 54:279-285.
- 石原昌信, 盛根信也, 片山寿雄, 儀間朝頼, 平良東紀, 多和田真吉, 小波本直忠. 2003年12月. *Aspergillus oryzae* W-1 のアルカリプロテアーゼインヒビター失活化酵素の精製と性質. *日本食品科学工学会誌*, 50:578-581.
- Yukihiko Tamaki, Shuntoku Uechi, Tohki Taira, Masanobu Ishihara, Shinichi Adaniya, Kenji Uesato, and Masakuni Tako. 2004年1月. Isolation and characterization of pectin from pericarp of *Citrus depressa*. *Journal of Applied Glycoscience*, 51: 19-25.
- Fan Liu, Shinjiro Tachibana, Toki Taira, Masanobu Ishihara and Masaaki Yasuda. 2004年4月. Purification and characterization of a new type of serine carboxypeptidase from *Monascus purpureus*. *J. Int. Microbiol. Biotechnol.*, 31: 23-28.
- T. Okuda, T. Sawada, H. Nakano, K. Matsubara, Masakazu Fukuta and O. Habuchi. 2003 7. Mouse N-acetylgalactosamine 4-sulfotransferase-1 and -2. Molecular cloning, expression, chromosomal mapping and detection of their activity with GalNAc $\beta$ 1-4GlcNAc $\beta$ 1-octyl. *J. Biochem (Tokyo)*, 134: 111-120.
- Yukihiko Tamaki, Shuntoku Uechi, Tohki Taira, Masanobu Ishihara, Shinichi Adaniya, Kenji Uesato, Masakazu Hukuta and Masakuni Tako. 2004年1月. Isolation and characterization of pectin from pericarp of *Citrus depressa*. *Journal of Applied Glycoscience*, 51: 19-25.
- Riki Shiroma, Shuntoku Uechi, Tohki Taira, Masanobu Ishihara, Shinkichi Tawata and Masakuni Tako. 2003年7月. Isolation and characterization of fucoidan from *Hijikia fusiformis* (Hijiki). *Journal of Applied Glycoscience*, 50: 361-365.
- 石原昌信, 片山寿雄, 平良東紀, 多和田真吉, 小波本直忠. 2003年7月. *Aspergillus oryzae* W-1 のアルカリプロテアーゼインヒビター. *日本食品科学工学会誌*, 50: 327-330.
- 石原昌信, 盛根信也, 片山寿雄, 儀間朝頼, 平良東紀, 多和田真吉, 小波本直忠. 2003年12月. *Aspergillus oryzae* W-1 のアルカリプロテアーゼインヒビター失活化酵素の精製と性質. *日本食品科学工学会誌*, 50: 578-581.
- Masakuni Tako, Shigeru Tohma, Tohki Taira and Masanobu Ishihara. 2003年11月. Gelation mechanism of deacetylated rhamnan gum. *Carbohydrate Polymers*, 54: 279-285.
- Yukihiko Tamaki, Shuntoku Uechi, Tohki Taira, Masanobu Ishihara, Shinichi Adaniya, Kenji Uesato, Masakazu Hukuta and Masakuni Tako. 2004年1月. Isolation and characterization of pectin from pericarp of *Citrus depressa*. *Journal of Applied Glycoscience*, 51: 19-25.
- Fan Liu, Shinjiro Tachibana, Toki Taira, Masanobu Ishihara and Masaaki Yasuda. 2004年4月. Purification and characterization of a new type of serine carboxypeptidase from *Monascus purpureus*. *J. Int. Microbiol. Biotechnol.*, 31: 23-28.
- 孫麗曼, 石丸哲二, 大城伸明, 玉城 一, 知念 功. 2003年12月. ケジラミのミモシン分解酵素の精製と諸性質. *琉大農学報*, 50: 143-149.
- 孫麗曼, 石丸哲二, 玉城 一, 屋 宏典, 知念 功. 2003年12月. バガスアルカリ可溶性画分の糖含量と糖組成. *琉大農学報*, 50: 151-155.
- 孫麗曼, 石丸哲二, 玉城 一, 知念 功. 2003年12月. 食餌制限したラットで誘発する骨粗鬆症. *琉大農学報*, 50: 157-163.
- Liman Sun, Hajime Tamaki, Yutaka Ohta, Naohumi Katsuyama, Tetsuji Ishimaru and Isao Chinen. 2004年6月. Inhibition of osteoporosis induced by protein deficient (PD) food intake by active vitamin D<sub>3</sub> and vitamin K<sub>2</sub> in rats. *Biosci. Biotechnol. Biochem.*, 68: 1385-1387.
- 安田正昭, 久場奈緒子, 高木博史. 2003年10月. 遺伝子組換えによる大豆凝集酵素の効率的生産技術開発. *大豆たん白質研究*, 6:43-47.
- Fan Liu, Shinjiro Tachibana, Toki Taira, Masanobu Ishihara and Masaaki Yasuda. 2004年4月. Purification and characterization of a new type of serine carboxypeptidase from *Monascus purpureus*. *J. Int. Microbiol. Biotechnol.*, 31: 23-28.
- 安田正昭. 2004年4月. 食品酵素化学の最新技術と応用, シーエムシー出版. pp. 123-133.
- 安田正昭. 2004年4月. 発酵と醸造III. 光琳, pp. 96-105.
- 孫麗曼, 石丸哲二, 大城伸明, 玉城 一, 知念 功. 2003年12月. ケジラミのミモシン分解酵素の精製と諸性質. *琉大農学報*, 50: 143-149.
- 孫麗曼, 石丸哲二, 玉城 一, 屋 宏典, 知念 宏. 2003年12月. バガスアルカリ可溶性画分の糖含量と糖組成. *琉大農学報*, 50: 151-155.
- 孫麗曼, 石丸哲二, 玉城 一, 知念 功. 2003年12月. 食餌制限したラットで誘発する骨粗鬆症. *琉大農学報*, 50: 157-163.
- Liman Sun, Hajime Tamaki, Yutaka Ohta, Naohumi Katsuyama, Tetsuji Ishimaru and Isao Chinen. 2004年6月. Inhibition of osteoporosis induced by protein deficient (PD) food intake by active vitamin D<sub>3</sub> and vitamin K<sub>2</sub> in rats. *Biosci. Biotechnol. Biochem.*, 68: 1385-1387.
- Riki Shiroma, Shuntoku Uechi, Tohki Taira, Masanobu Ishihara, Shinkichi Tawata and Masakuni Tako. 2003年7月. Isolation and characterization of fucoidan

from *Hijikia fusiformis* (Hijiki). J. Appl. Glycosci., 50:361-365.

- Masakuni Tako and Susumu Hizukuri. 2003年8月. Rheological properties of wheat (Halberd) amylopectin. Starch/Stärke, 55:345-349.
- Masakuni Tako. 2003年9月. Rheological characteristics of fucoidan isolated from commercially cultured *Cladosiphon okamuranus*. Botanica Marina, 46: 461-465.
- Masakuni Tako, Shigeru Tohma, Tohki Taira and Masanobu Ishihara. 2003年11月. Gelation mechanism of deacetylated rhamnan gum. Carbohydr. Polym., 54: 279-285.
- 上地俊徳, 福重耕一郎, 小倉 剛, 川島由次, 砂川勝徳, 田幸正邦, 本郷富士弥. 2003年12月. 高脂肪高コレステロール負荷ラットの血清および肝臓中脂質に及ぼすウコン入発酵飲料投与の影響. 琉大農学報, 50: 165-170.
- Yukihiro Tamaki, Shuntoku Uechi, Tohki Taira, Masanobu Ishihara, Shinichi Adaniya, Kenji Uesato, Masakazu Hukuta and Masakuni Tako. 2004年1月. Isolation and characterization of pectin from pericarp of *Citrus depressa*. J. Appl. Glycosci., 51: 19-25.
- 上地俊徳, 福重耕一郎, 小倉 剛, 川島由次, 砂川勝徳, 田幸正邦, 本郷富士弥. 2003年12月. 高脂肪高コレステロール負荷ラットの血清および肝臓中脂質に及ぼすウコン入発酵飲料投与の影響. 琉大農学報, 50:165-170.
- Yukihiro Tamaki, Shuntoku Uechi, Tohki Taira, Masanobu Ishihara, Shinichi Adaniya, Kenji Uesato, Masakazu Hukuta and Masakuni Tako. 2004年1月. Isolation and characterization of pectin from pericarp of *Citrus depressa*. J. Appl. Glycosci., 51: 19-25.

### 3) 報告書

- 平良東紀. 2004年3月. 熱帯・亜熱帯由来生体防御タンパク質の構造と抗菌の相関・公益信託宇流麻学術研究助成金報告書.
- 安田正昭. 2004年3月. 紅麴菌を用いた保健機能因子強化食品の開発. 沖縄産学官共同推進事業成果報告書, pp. 23-38.
- 田幸正邦. 2003年7月. 小麦アミロペクチンのレオロジー特性の分子起源に関する研究. 財団法人エリザベス・アーノルド富士財団平成14年度報告書, pp. 301-309.
- 田幸正邦. 2004年4月. 養殖オキナワモズクから製造したフコイダンの機能・特性の開発に関する研究. 科学研究費一般基盤研究C研究成果報告書.

## 亜熱帯フィールド科学教育研究センター

### 1) 学会および講演会等発表

- 呉 立潮, 新里孝和. 2003年10月. 沖縄島北部の常緑広葉樹林における皆伐5年後の再生林. 日本林学会九州支部大会.
- 工藤孝美, 新里孝和. 2003年10月. 沖縄島北部のイタジイ優占の石灰岩林; 日本林学会九州支部大会.
- 新里孝和, 上原一郎. 2003年10月. 沖縄島北部亜熱帯照葉樹林の第三段階構造と植物地理, 日本林学会九州支部大会.
- 須藤健二, 小倉 剛, 平山琢二, 向井 宏, 川島由次, 大泰司紀之. 2003年7月. 南西諸島のジュゴンの生息北限に関する聞き取り調査. 日本野生動物医学会大会, 西原.
- 平山琢二, 小倉 剛, 須藤健二, 川島由次, 向井 宏, 大泰司紀之. 2003年7月. 沖縄島と奄美島におけるジュゴンの餌となる海草の成分組成. 日本野生動物医学会大会, 西原.
- 平山琢二. 2003年9月. 反芻家畜の暑熱ストレス, 南方資源利用技術研究会(特別講演), 西原.
- 平山琢二, 加藤和雄, 大田 實. 2003年9月. Amount of nutritional digestion on ruminants in a hot environment. 第9回世界畜産学会, ブラジル.
- 平山琢二. 2003年10月. 家畜の行動テレメトリー. 日本家畜管理学会秋季シンポジウム(特別講演), 那覇.
- 平山琢二, 平川守彦, 比嘉辰雄, 外間 聡, 松永昌訓, 加藤和雄. 2004年3月. 放牧地におけるウシの採食行動の計測. 日本畜産学会, 府中.

### 2) 論文

- 福地盛春, 比嘉辰雄, 金城義正, 外間 聡, 平山琢二, 石嶺行男. 2003年12月. 亜熱帯フィールド科学教育研究センター・農山間域農業分野における放牧地の複合利用. 琉大農学報, 50: 181-184.
- Hideaki Otsuka, Hidehiko Kijima, Eiji Hirata, Takakazu Shinzato, Anki Takushi, Masahiko Bando and Yoshio Takeda, 2003年3月. Glochidionionosides A-D: Megastigmane glucosides from leaves of *Glochidion zeylanicum* (GAERTN.) A. Juss. Chem. Pharm. Bull. 51(3): 286-290.
- Hideaki Otsuka, Eiji Hirata, Takakazu Shinzato, Yoshio Takeda, 2003. Stereochemistry of megastigmane glucosides from *Glochidion zeylanicum* and *Alangium premnifolium*. Phytochemistry, 62: 763-768.
- L. Wu and Takakazu Shinzato. 2003年12月. Decay of stumps and surviving state of residual trees 8 years post-selective logging in subtropical laurel forest in Okinawa, Japan. Sci. Bull. Fac. Agr. Univ. Ryukyus, 50:185-194.
- N. Asato, T. Hirata, Takuji Hirayama, R. Onodera, Akihisa Shinjo and Seiichi Oshiro. 2003. Effects of

auditory stimuli on the ruminating and masticating behavior of goats in dark and artificial lighting.

Asian-Austrian J. Anim. Sci., 16: 198-203.

福地盛春, 比嘉辰雄, 金城義正, 外間 聡, 平山琢二, 石嶺行男. 2003年12月. 亜熱帯フィールド科学教育研究センター・農山間域農業分野における放牧地の複合利用. 琉大農学報, 50: 181-184.

比嘉辰雄, 外間 聡, 平山琢二, 平川守彦. 2003年12月. 亜熱帯フィールド科学教育研究センターにおける子牛下痢発生と対策(2) 琉大農学報. 50: 177-180.

### 3) 報告書

宮城 勉, 大城 勝, 比嘉 寿, 新里孝和, 千木良芳範, 高原建二, 当山昌直, 與儀春樹, 幸地良仁. 2003年. 名護市の自然・名護市動植物総合調査報告書. 名護市教育委員会, pp. 1-322.

新里孝和, 比嘉 寿, 幸地良仁, 当山昌直, 高原建二, 與儀春樹, 千木良芳範. 2003年. 名護市の自然—第2集—. 名護市教育委員会, pp. 1-322.

平山琢二. 2003年7月. 肉牛の暑熱ストレス. 養牛の友.

平山琢二. 2003年8月. 肉牛の舐食行動. 養牛の友.

平山琢二. 2004年6月. 暑い夏は重曹サプリで健康ルーメン. 養牛の友.